

# 【事例発表資料】多面的機能支払交付金の取組状況

## 1. 組織の概要及び取組事例

活動組織名	宮内地区地域資源保全会				市町村名	気仙沼市			
取組開始年度	26年度～	構成員	農業者	16名					
			非農業者	0名					
			団体	1団体 <small>(主な団体) 自治会</small>					
認定農用地面積	田	6.16 ha	畑	1.16 ha	草地	0 ha	計	7.32 ha	
平成26年度 交付額	農地維持支払交付金				208千円				
	資源向上支払(共同活動)				0千円				
	資源向上支払(施設の長寿命化)				0千円				
① 地域の概要	本地区は気仙沼市の西部に位置し、2級河川馬籠川右岸に広がる小さな水田地帯である。								
② 取組概要	<p>取水頭首工を同じくする耕作者・土地所有者16名で保全会を組織し、農業用施設の保全・維持管理活動等を行っている。</p> <p>基礎活動では、用水路の草刈りや土砂上げ、補修、農道の草刈りや砂利敷き、施設の点検を実施。</p> <p>保全管理活動では、構成員全員に対する農業経営意向調査を実施し、遊休農地の発生抑制に努めている。</p>								
③ 取組の効果	従来、2系統ある水路の維持管理は水路ごとに別々に行ってきたが、高齢化が進む中で作業従事者が減少してきていたが、保全会結成により団地内の耕作者が協働して取り組む事によって効率的に行われるようになった。また、これまで実施できなかった農道の補修作業にも対応できるようになった。								
④ 課題	後継者不足により耕作面積の縮小や離農などにより、新たな遊休農地が発生する恐れがあり、その利活用を図りたいが経営規模拡大を希望する者がいない。この傾向が年々拡大するものと思われる。								
⑤ その他	<p>本地区は気仙沼市本吉町の観光施設である「モ〜ランド本吉」の玄関口にあたることから、訪れる人の心を癒していけるよう美しい農村風景を維持して行きたいと考えている。</p> <p>そのため、今後は早期に遊休農地の利活用を図るとともに、地区を横断する「モ〜ランド本吉」への市道の両側に花を植栽したい。その植栽活動に地域住民も参加していただき、地域全体の景観維持につなげていきたい。</p>								

## 2. 取組の写真

	
① 水路の土砂上げ	② 頭首工取水口の土砂上げ
	
③ 農道の補修作業①	④ 農道の補修作業②
	
⑤ 「モ〜ランド本吉」の玄関口	⑥ 「ひまわり」の試験植栽